



地区センター図書室の図書の入れ替えを定期的に行っています！

地区センター図書室間では、毎週 20～40 冊程度、図書の入れ替えを行っています。(休館日や天候等により実施できない場合があります。)

もし、次に読みたかった本が別の地区センターと入れ替えになってしまった場合でも予約をすることでお近くの地区センターで受け取ることができます。予約方法が分からない場合には職員にお気軽にお声掛けください。

また、返却についても、どこの図書館にでも返すことが可能です。本館にはブックポストもありますので休館中の本の返却にご利用ください。

入れ替えた図書が届く日程

火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第五、第二、片浜 金岡、今沢	大岡、門池、原 浮島、愛鷹	大平、第三、第四 西浦、内浦	静浦

今むかし豆ちしき～文学作品に登場する場所や建造物について～

小説『巴里に死す』は、芹沢光治良ゆかりの沼津の風景が描かれています。

「宮村の両親の墓は山陰の松林のなかにあった。松林を抜けると海岸へ出た。浜辺をしばらく川沿いの方へ歩くと、別荘地帯であった。その別荘地帯の端に、漁師の家が四、五十軒ごみごみかたまっていた。そのなかの叔父の家へ、宮村は私を案内した。叔父夫婦は喜んで歓迎したが、足の踏み場もなく狭くて、漁具をあちこちに積んで、生臭い空気が家中にただよっているようで、熱心にすすめるが家に上る気にはならず、縁側に腰を掛けた。叔母は新しい莫産を縁側に置いて、お口にあうものがないからとて、近所の店にサイダーを買いに走った。そのサイダーにさえ、私は口をつけずに、縁側から見える大川の流れをぼんやり眺めて、帰りの汽車のことばかり考えていた。」

『新装版 巴里に死す』勉誠出版/2019/p.41 より

沼津豆ちしき

- * 松林 ⇒ 千本浜から我入道海岸沿いの松林
- * 漁師の家が四五十軒 ⇒ 我入道
- * 大川 ⇒ 狩野川



我入道の渡し船



『巴里に死す』
芹沢光治良//著
勉誠出版
2012年

カバー画：芹沢光治良

芹沢光治良(1896～1993)

沼津市我入道生まれ。代表作は「ブルジョワ」「巴里に死す」「人間の運命」。

「巴里に死す」は昭和 28 年(1953)にフランス語訳が出版された。

昭和 31 年(1956)にベルギーの読者クラブ賞次席を獲得、昭和 34 年(1959)にはフランス詩人連盟からフランス友好国際大賞を授与された。

昭和 44 年(1969)にスウェーデンアカデミーよりノーベル文学賞推薦委員に選ばれている。昭和 50 年(1975)にコマンドゥール(フランスの芸術文化勲章)を授与された。



沼津市立浮島小学校

沼津市平沼 8 1 1



こうじゅかん

校歌 作詞 鈴木元司
作曲 高木智恵子

一
愛鷹山の 雲はれて
南に清き 駿河湾
みのる平野を 下にみて
気高く立てり その姿
これぞ我等が 浮島校

二
自然の恵み 身にあびて
つとめ同胞 意気高し
平和の庭に 今立ちて
誠の道に いそしめる
これぞ学びの 我が姿

沿革 明治 7 年 (1874) 井出の大泉寺に弘需館が開設されました。翌年船津 (現富士市) の興隆寺に興隆舎が開設されました。明治 13 年弘需館が阿野小学校に改称し移転しました。明治 18 年には阿野小学校と興隆舎、とつきようしゃ 篤恭舎が合併して愛南小学校となり、翌年井出尋常小学校となりました。明治 22 年に浮島尋常小学校、明治 39 年に浮島尋常高等小学校となりました。昭和 16 年 (1941) に浮島国民学校に改称、昭和 22 年浮島村立浮島小学校となりました。昭和 30 年に浮島村が原町と合併したことから原町立浮島小学校となり、昭和 43 年の原町と沼津市との合併にともない、沼津市立浮島小学校となりました。

興国寺城跡



後北条氏の祖伊勢新九郎盛時 (のちの北条早雲) 旗揚げの城として知られています。平成 7 年 (1995) 国の史跡に指定され、平成 29 年続日本百名城に選定されました。

大泉寺

伝阿野全成・時元の墓

大泉寺は阿野全成の館跡といわれています。全成とその子時元のものと伝わる墓があります。

浮島ひまわりランド



沼津市立原小学校

沼津市原 1 2 0 0

沿革 明治 6 年 (1873) 一本松・助兵衛 (現桃里)・植田の 3 新田で大通寺境内に初学舎が設立され、明治 13 年かくぶつに格物小学校と改称されました。明治 7 年 3 月に原宿ゆうしんかんの昌原寺に又新館が、明治 8 年 3 月に大塚で始進舎が設立されました。明治 9 年に又新館と始進舎が合併して三事舎と改称しました。明治 19 年小学校令により格物小学校と三事舎が合併して尋常小学袖子浦学校となり、翌年原尋常小学校と改称しました。明治 26 年に原尋常高等小学校になりました。昭和 16 年原国民学校となり、昭和 22 年原町立原小学校となりました。昭和 43 年原町と沼津市との合併にともない、沼津市立原小学校となりました。

帯笑園

帯笑園は江戸時代から昭和初期まで、原の植松家が伝えてきた庭園です。芸術家をはじめ将軍や大名・貴族らが訪れました。オランダの医師シーボルトも著書でその美しさを讃えています。



白隠禅師

松蔭寺と白隠禅師

松蔭寺は江戸時代白隠慧鶴が住職を務めました。白隠は原宿に生まれ「駿河には過ぎたるものが二つあり 富士のお山に原の白隠」と歌われるほどの名僧として知られています。

✽ 9 月 4 日 (月) から 11 日 (月) は特別館内整理期間のため休館します。✽

御迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。